

# 令和6年度 教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書 【概要版】

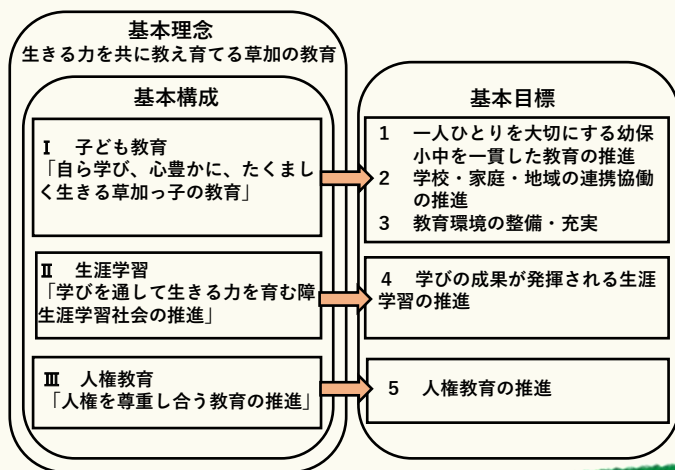
## 点検評価の趣旨

草加市教育委員会では、第四次草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」（令和6年度～令和9年度）に基づき、基本理念として掲げる『生きる力を共に教え育てる草加の教育』を推進しております。

事務の執行に当たっては、第四次草加市教育振興基本計画の実現に向け具体的な目標値を年度ごとに定め、事務の点検及び評価により、進行管理を行っています。

この報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、令和6年度に実施した教育委員会の事務に関する点検及び評価の結果を取りまとめたものです。

### 第四次草加市教育振興基本計画 「笑顔かがやく草加教育プラン」



## 点検評価の方法

点検及び評価に当たっては、施策に基づく主な取組の活動内容実績、施策の指標に係る実績値から成果と課題を明らかにするとともに、次年度以降の取組についてその内容を示し、事務改善を図ります。

点検及び評価の客観性を確保し、知見を活用するため、教育に関し学識経験を有する点検評価委員から、様々なご意見、ご助言をいただきました。

## 点検評価委員

- 桑原 信人  
(草加市PTA連合会副会長)
- 船戸 姿子  
(人権擁護委員、草加市立小中学校通学区域審議会委員、草加市いじめ問題対策連絡協議会委員、元草加市立西町小学校校長)
- 安原 陽平  
(獨協大学法学部法律学科教授、草加市男女共同参画審議会委員、草加市社会教育委員)

任期：令和6年7月1日から令和8年6月30日まで



# 総合評価結果一覧

総合評価の結果は次のとおりです。Aと評価したものが3件、Bと評価したものが14件、C及びDと評価したものはありませんでした。

令和6年度総合評価		
1-1	子ども教育の連携の推進	A
1-2	自ら学ぶ「草加っ子」の育成	B
1-3	心豊かな「草加っ子」の育成	B
1-4	たくましく生きる「草加っ子」の育成	B
1-5	多様なニーズに対応した教育と支援の充実	B
1-6	草加っ子の学びを支える教職員の指導力向上	B
2-1	地域とともにある学校づくりの推進	B
2-2	家庭教育への支援	A
3-1	安全安心な学校教育施設の整備・充実	B
3-2	学習環境の整備・充実	A
4-1	生涯を通じた多様な学習機会の充実	B
4-2	公民館・文化センターの整備と生涯学習環境の充実	B
4-3	文化遺産の発掘・保存・活用の計画的、継続的な取組の推進	B
4-4	読書や学びを支え市民に役立つ図書館サービスの充実	B
5-1	学校人権教育の推進	B
5-2	社会人権教育の推進	B
体系外	施策体系外事業	B
A…3 B…14 C…0 D…0		

総合評価基準

A：十分に目標が達成された。 B：相当程度目標が達成された。

## 2-2 家庭教育への支援

### ○成果目標

- 保護者がこれまでの子育てを振り返り、家庭教育について考える機会を提供し、家庭・地域の教育力の向上を目指します。
- 生徒に大人になることについて考える機会を提供し、将来への希望や期待感をもてるようにします。

### ○成果指標

- 「親の学習」講座受講者アンケートで、「今日の講座の中で学んだことを、今後の子育てや子どもとの接し方に積極的にいかす」「いかすよう努力する」と回答した保護者の割合
- 「親の学習」講座受講者アンケートで、「講座に参加して、将来大人になることに希望をもてた」と回答した中学生の割合

### ○実績値／目標値

- 97.6% / 100%
- 94.5% / 100%

### ○A評価の理由

「親の学習」講座の受講者アンケートにおいて、保護者からは97.6%、中学生からは94.5%と高い割合で肯定的な回答を得ることができました。  
また、草加市子ども教育連絡協議会において、各種子育てリーフレットを改訂するとともに、様々な機会を通じて保護者や関係機関に配布し、家庭教育に係る有益な情報について、広く周知することができました。  
以上の理由などから、A評価とさせていただきます。

# 総合評価Aの施策について

## 1-1 子ども教育の連携の推進

### ○成果目標

- 児童生徒の自己肯定感及び自己有用感を育みます。
- 小中学校間の円滑な接続を目指します。

### ○A評価の理由

タブレット端末を活用し、児童生徒アンケートを全数に対して行い、自己肯定感・自己有用感、そして新たに他者理解に関する設問を加え、子どもたちの実態や課題をより詳細に把握し分析することができ、その結果、成果指標にも表れているとおり、幼保小中を一貫した教育を通して、自己肯定感、自己有用感が育まれたものと考えております。  
また、市内の教員・保育士を対象とした合同研修会を始め、各種研修会を実施し、事後アンケートでは100%の参加者から肯定的な回答を得ることができました。  
以上の理由などから、A評価とさせていただきます。

### ○成果指標

- 自己肯定感及び自己有用感が高い（子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査から5段階で評価して、上位2段階にあたる）児童生徒の割合
  - 自己肯定感が高い児童生徒の割合
  - 自己有用感が高い児童生徒の割合
- 中学校へ進学することが楽しみ（子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査から4段階で評価して、上位2段階にあたる）と回答した児童生徒の割合
  - 楽しみだと回答した児童(小5・小6)の割合
  - 楽しみだったと回答した生徒(中1)の割合

### ○実績値／目標値

- ① 71.0% / 70%  
② 86.8% / 75%
- ① 82.5% / 70%  
② 70.8% / 80%

## 3-2 学習環境の整備・充実

### ○成果目標

教員が授業中にICTを活用したり児童生徒にICTを活用させたりすることで、授業の充実を図ります。

### ○A評価の理由

学校訪問等の指導・助言や教職員一人ひとりのICT活用能力の高まりによって、授業においてICT機器の利活用が進み、個別最適な学びの充実を図ることができました。  
また、令和7年度に向けて新校務用パソコンやA1ドリルの導入に向けて準備を進め、学習環境の充実を図るとともに、併せてセキュリティポリシーの策定に取り組むことができました。  
以上の理由などから、A評価とさせていただきます。

### ○成果指標

- 授業中にICTを活用し、児童生徒にICTを活用させることができる教員の割合
- 小学校
  - 中学校

### ○実績値／目標値

- 80.1% / 90%
- 77.5% / 90%